

CASBEE 広島 2016年版
クリアホームズ長束新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.1	
Q1 室内環境					0.40		-	3.6	
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50		
1		開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2		界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30		
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				-	-	-	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	4.0	1.00	3.8	
2.1 室温制御				3.0	0.50	4.0	1.00		
1		室温		3.0	0.63	-	-		
2		外皮性能		3.0	0.38	4.0	1.00		
3		ゾーン別制御性		3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.0	0.25	4.0	1.00	3.8	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.0	0.50		
1		昼光率		-	-	5.0	0.50		
2		方位別開口		-	-	3.0	0.30		
3		昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.50		
1		昼光制御		3.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7	1.00	3.7	
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1		化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.40	3.3	0.38		
1		換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2		自然換気性能		-	-	4.0	0.33		
3		取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1		CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2		喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2	
1 機能性				2.5	0.40	3.8	1.00	3.6	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1		広さ・収納性		-	-	-	-		
2		高度情報通信設備対応		-	-	5.0	1.00		
3		バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1		広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
2		リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3		内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1		維持管理に配慮した設計		4.0	0.50	-	-		
2		維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
2		免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-		
6		主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		
1		空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
2		給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-		
3		電気設備		3.0	0.20	-	-		
4		機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5		通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
	1 階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
	1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱等級4	4.0	0.20	-	-	4.0
	2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
	3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.84	5.0	0.50	-	-	5.0
	4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水コマ+省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	クラッシャーラン	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告照明なし	4.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	